

令和7年度北上市市政座談会
～きたかみまちづくりトーク「WAになって話そう」～in 立花

報告書

日時 令和7年7月2日（水） 午後6時から7時まで

場所 立花地区交流センター

参加者 地域参加者：28名

市出席者：11名 ※他事務局等7名

グループトークテーマ

- A. 協働のまちづくりと市立大学についてどう思いますか？
- B. 立花の子どもたちに、どのような環境で育ってほしいですか？
- C. あなたは、年をとったらどのような暮らしをしたいですか？
- D. 立花の美しい景観を保つためには、どうすれば良いと思いますか？
- E. あなたが思う「住みよい立花」とは何ですか？

Aグループ

- ・市立大学設置について、経費の問題や既存施設活用の検討がされていない事への問題視、中心部だけ再開発が進む現状への懸念、市民への負担、経営リスクの高さなど、設置について不安に思っているという意見が出された。地域のインフラ整備や高齢化の対策を先に進めてほしいという声もあった。
- ・子どもを持つ親は、子どものために賛成しているという話も聞く、大学設置の目的や意義を明確にし、特色ある学部であれば学生が集まる可能性もある、という意見もあり、仮に大学を設置する場合でも、市民への丁寧な説明が必要だという意見もあった。
- ・メリットだけでなくデメリットについての説明も必要で、市民への丁寧な説明を行ってほしいという意見が多くあった。また、多様な意見を尊重し、結論を急がずに進めてほしいという感想もあった。

Bグループ

- ・子どもたちの育つ環境について、地域で子どもたちに積極的に関わって活動している、地域の見守り活動を子どもたちのために続けてほしい、学習環境や家庭環境について地域で支えられることを考えたい、地域行事を通して子供たちが集まって交流できる機会を増やしたいなど、多様な意見が出た。
- ・近年の状況について、子ども会の活動が縮小して集まる機会が減っている、防犯や安全面から、子ども同士外で遊ぶ機会が減っている、SNSの利用について心配しているという意見があり、地域行事の継続や安全面への配慮、家庭でのルール作りや話し合うことの重要性等について話が出た。
- ・それぞれの立場や経験から、子どもたちのために何ができるのかを考え、今後も地域と協力しながら様々な活動を続けていきたいという思いが共有された。

Cグループ

- ・安心してゆっくり暮らしたい、人とのつながりを大事にしたい、心身ともに健康で暮らしたい、健康寿命を意識して長く働いていたいなど、それぞれの理想の暮らし方について多様な話が出た。死に方を考えながら生きること大切だと思っている、という意見もあり、死について恐怖を感じる、受け入れなければならない等の意見が出された。
- ・現在の状況について、高齢化による地域活動の担い手不足や介護の現実、家族や地域で支え合うことの難しさ、地域の見守り活動のための個人情報取り扱いなどの課題についても意見が出された。男性がサークル活動に参加し難い状況があり、年齢や性別関係なく参加できるように変えていきたいという意見もあった。
- ・市出席者からは、新聞記事に掲載されていた内容が紹介され、「自分でできることをすることで、人間は錆びない」という考え方に共感した、という話があった。

Dグループ

- ・立花の景観について、展勝地の桜並木だけではなく、国見山のハイキングコースや奥羽の山並み、紫陽花や菜の花の植栽、北上市を一望できるオープンガーデン、眺望スポットの多さなど、様々な景観資源が挙げられた。
- ・各団体や地域で環境整備活動を行ってきたが、高齢化や担い手不足により活動が難しくなっている問題や、農地では休耕田が増え、放置されたまま草刈りなどの管理問題が出てきているという話があった。また、景観資源によっては整備されず木々が生い茂っており、景観に影響を及ぼしている現状が共有された。
- ・景観資源を生かした地域活性化についての意見も出され、展勝地ブランドを生かした観光農園作りやハイキングコースの更なる整備などのアイデアを共有した。対話することで立花の良さを再認識し、もっと広めていきたいという感想もあった。

Eグループ

- ・地域内道路での乗用車のすれ違いが困難な状況、さくらまつり期間中の主要道路の混雑問題、合併浄化槽の補助金制度の周知を徹底してほしい等のインフラ整備に関する意見が出された。
- ・農業や土地利用について、地域の高齢化による担い手不足や休耕田の増加と農業用水の不足が関係しているのではないかという意見、土地利用の方針等について、地域の実状に合わせた柔軟な対応がほしいという話があった。
- ・立花の良さについて、学校や病院などもそろっており、生活環境が整っているという話があった。地域で立花の良さを外にPRしていくことで、立花の人口増加につなげ、新しく来た人たちとの意思疎通ができるような環境をつくっていくことが住みよい立花を作る方法だという意見もあった。

グループトークの様子



立花地区の皆さま

たくさんのご参加ありがとうございました